

【説明会資料】

NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開/ 研究開発型スタートアップ支援人材の養成特別講座の運営業務

※ご参加の際はカメラ、マイクをオフにしてください。事務局で制御させていただく場合があります。

※説明後に質疑応答の時間を設けます。

チャット欄に記入いただいたものに回答する予定ですので、説明中に適宜ご記入ください。

(必要に応じて、ご発言いただく場合がございます)

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部 スタートアップグループ SSA事務局

tech-ssa@nedo.go.jp

- 公募内容のご説明

- 質疑応答

事業目標

研究開発型スタートアップ支援人材の育成プログラム

「NEDO Technology Startup Supporters Academy (SSAプログラム)」

の運営支援やプログラム修了生の活動支援、支援人材に関する調査等を通じて、
スタートアップエコシステムの底上げ・活性化に寄与する人材育成を行います。

これにより、スタートアップの創出や成長を後押しし、日本の産業競争力の向上に貢献することを目指します。

事業内容

(1) 人材育成講座の実施・運営

SSAプログラムの運営支援業務：事務局業務、スケジュール設定、内容提案等

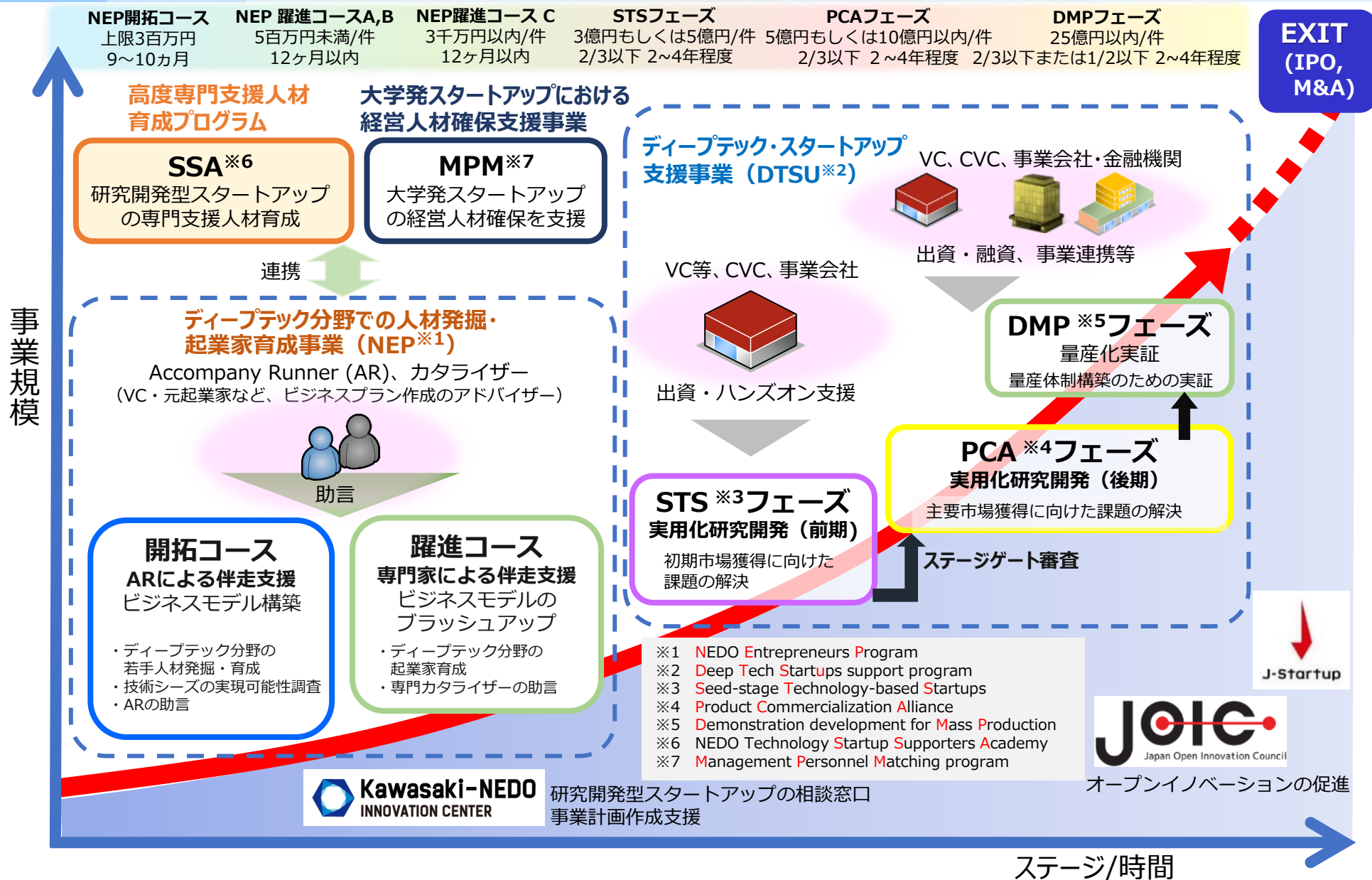
(2) 周辺研究の実施

SSAプログラムに係る調査業務：研修効果の検証、内容分析等

(3) 人的交流等の展開

SSAプログラムに係る人材支援業務：修了生の交流機会の提供等

NEDO研究開発型スタートアップ支援事業の全体像



日本のスタートアップエコシステムの構築・発展を目的に、
広い知見や専門性を持って研究開発型スタートアップの発掘から成長までを伴走援できる
「支援人材」を、産・学・官・公・民の横串で育成 (2017年開設)

受講対象者例

- 大学の産学連携・知財本部などの関連教職員、URA、コーディネーター、TLO役職員
- 自治体部局や産業支援機関の職員、インキュベーションマネージャー、コーディネーター
- 民間企業にてオープンイノベーションや社内発のカーブアウト、スピンオフベンチャー創出、CVC活動などを行う、スタートアップ関係部局の担当者
- VCにて技術の目利きや掘り起こしを行い、個社支援やハンズオン支援のスキル習得を志向するキャピタリスト
- スタートアップ支援に関わる経験を通じ、将来的に起業や経営への参画を目指す者
- 上記に準ずる職能の者あるいはスタートアップ支援のキャリア形成を志す者

※修了者例 https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100114.html

- 研究シーズの掘り起こしから事業化までを「全体的に俯瞰」でき、「適切な初動支援策の提供」や必要に応じて「各種の外部専門家へと繋げること」の出来る人材
- イノベーション創出に向け、「現場主義」に基づき、起業家を「忍耐強く」伴走支援することを厭わない人材
- オープンイノベーションやスタートアップエコシステム構築に資する「スタートアップ創出環境のデザインやプロデュース、現場の課題改善を主体的に行う意思」を有する人材
- 創業のボードメンバーとして支援が可能な、「アントレプレナー型支援人材」

1. マインドセットの育成・強化

強い当事者意識や使命感をもち、「忍耐強く起業家を伴走支援する」、「スタートアップ創出環境のデザインやプロデュース、現場の課題改善を主体的に行う」等の意識の養成

2. スタートアップ支援スキルの獲得

研究開発型スタートアップの支援に必要な知見やスキルの養成

関連政策や施策等の理解とそれらを支援のツールとして使いこなすための知見や運用能力の養成

3. イノベーションやスタートアップエコシステムに関する知見の獲得

起業家の道しるべとなるために要求される、イノベーションに関する基礎的知見（方法論や考え方等）の獲得
スタートアップエコシステムの一員として必要な考え方の養成

4. 活躍の場の拡大

同期生や修了生、講師等との交流を通じた「支援の相互補助ネットワーク」の構築

研修で得られた知識や支援スキル・経験等を活かしてステップアップ、活躍の場を広げていく機会・きっかけの提供

3-1. SSAプログラムの運営支援業務

3-1-1. SSAプログラムの事務局業務

3-1-2. SSAプログラムのスケジュール設計業務

3-1-3. SSAプログラム内容の提案業務

3-1-4. SSAプログラム内容への追加提案及びその実施

3-2. SSAプログラムに係る調査業務

3-2-1. SSAプログラム研修効果の検証

3-2-2. SSAプログラムの内容についての分析

3-3. SSAプログラムに係る人材支援業務

3-3-1. SSAプログラム修了生の交流機会の提供

3-3-2. SSAプログラム等スタートアップ支援業務に関する庶務

報告書

本業務で実施した結果等について、具体的なアクションや様々な工夫に対して、効果・寄与（効果がなかった場合を含む）を整理し情報を集約していただくと共に、事業終了時点で自己分析し、提案者が継続的に取り組むにあたって構想する将来像も含めて報告書（和文）の形にまとめてください。また、調査結果のエビデンスを示す参考資料も別途提出してください。なお、本業務において収集した各種情報・データ等は全てNEDOに帰属するものとし、本業務の終了以降も、本事業や後継事業、併せて関連事業において活用する予定です。

（１）中間報告書

提出期限：2024年3月末日

提出方法：提出時点における本業務の中間結果を、最終報告書の内容を見据えた形式で取りまとめ、中間報告書（ワード形式およびパワーポイント形式）として、当機構担当者まで提出してください。

（２）最終報告書

提出期限：2025年3月末日（契約期間を延長した場合はNEDOの指示に従うこと）

提出方法：業務内容を網羅した上で、成果報告書のフォーマットに従い作成し、最終報告書（ワード形式もしくはパワーポイント形式）として、当機構担当者まで提出してください。

※なお、上記報告書以外に、中間年報と成果報告書の電子ファイル一式を、それぞれ所定の期日までにNEDOプロジェクトマネジメントシステムで提出してください。

詳細は、「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」をご確認ください。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

報告会

委託期間中又は委託期間終了後にNEDOが実施する報告会（非公開予定）等において報告してください。

事業期間

2023年度～2024年度（約1.5年）

事業規模

2023年度（NEDO が指定する日から2024 年 3 月末日）：25 百万円以内／年

2024年度（2024 年 4 月 1日 から 2025 年 3 月末日）：30 百万円程度／年

（2024年度は、予算の都合で変動することがあります）

次の(1)～(5)までの条件、「基本計画」及び「2023年度実施方針」に示された条件を満たす、単独で受託を希望する企業等とします。

- (1) 当該分野についての業務実績を有し、かつ、事業目標の達成及び事業計画の遂行に必要な組織、人員を有していること。
- (2) 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有していること。
- (3) 政府機関や公共機関等が実施する人材育成や研究開発型スタートアップに係る業務等の実績を有していること。
- (4) NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。
- (5) 本邦の企業等で日本国内に拠点を有していること。
- (6) 反社勢力、あるいはそれに関わる者との関与がないこと。

提出期限までにWeb入力フォームからアップロード
持参、郵送、FAX、電子メール等、他の方法による提出は受け付け不可

提出先（Web入力フォーム）

https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/ssa_2023

提出期限：2023年7月21日（金）正午 アップロード完了

※再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。
同一の提案者から複数の提出書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。

※7月21日（金）当日中に提案受理のメールを連絡担当宛に送付します。

提出書類はすべてPDF形式で作成し、1つのZIPファイルにまとめてください
パスワードは設定しないでください

- (ア) 提案書（別添1）
- (イ) ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況（別添2）
- (ウ) 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票（別添3-1、3-2）
- (エ) 会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書）
（提出先のNEDO部課と過去1年以内に契約がある場合は不要）
- (オ) 直近の事業報告書
- (カ) 財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）（3年分）
（審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出を求める場合があります）
- (キ) NEDOが提示した契約書（案）（標準契約書）に合意することが提案の要件となりますが、
契約書（案）について疑義がある場合は、その内容を示す文書

調査委託契約標準契約書

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2023_3yakkan_chousa.html

審査方法

二段階審査（外部有識者による採択審査委員会とNEDO内の契約・助成審査委員会）
委託先の選定は非公開で行われ、審査に関する問い合わせには応じられません。

審査基準

- i. 提案の内容が基本計画の目的と合致していること。
本成果を活用して持続的にスタートアップ支援人材育成の一角を担う意思を有していること。
- ii. 提案の内容が本事業の目的や背景と合致し、仕様に沿うものであること。
- iii. 提案の方法、内容等が独自性を有する等、優れていること。
- iv. 提案の経済性が優れていること。
- v. 関連分野に関する業務等の実績を有していること。
- vi. 当該事業を行う体制が整っており、必要な人員等を有していること。
- vii. 経営基盤が確立していること。
- viii. 委託業務管理上 NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

2023年 6月22日 (木)	: 公募開始
6月28日 (水)	: 公募説明会申し込み締切
6月30日 (金)	: 公募説明会
7月21日 (金)	: 公募締切 (正午アップロード完了)
8月 4日 (金) (予定)	: 採択審査委員会 (外部有識者による審査) ヒアリング審査を予定
8月 下旬 (予定)	: 契約・助成審査委員会
9月 上旬 (予定)	: 委託先決定、公表
9月 中旬 (予定)	: 契約・業務開始

■ 仕様書の補足

3-1. SSAプログラムの運営支援業務

3-1-1. SSAプログラムの事務局業務

3-1-2. SSAプログラムのスケジュール設計業務

3-1-3. SSAプログラム内容の提案業務

3-1-4. SSAプログラム内容への追加提案及びその実施

3-2. SSAプログラムに係る調査業務

3-2-1. SSAプログラム研修効果の検証

3-2-2. SSAプログラムの内容についての分析

3-3. SSAプログラムに係る人材支援業務

3-3-1. SSAプログラム修了生の交流機会の提供

3-3-2. SSAプログラム等スタートアップ支援業務に関する庶務

3-1-1. SSAプログラムの事務局業務

2023年度および2024年度に実施するSSAプログラムにおいて、仕様書 p.3、4に示す「(参考1) 2022年度のSSAプログラム」「(参考2) 2023年度の運営支援業務の内訳」を基に内容を理解した上で必要経費を計上し、**事務局業務を実施すること。**

2023年度の想定

研修区分	工数の目安	開催場所 (予定)	内容 (予定)
①-1 開講研修	講義 7時間×3日 講師21名	首都圏 (NEDO、K-NIC等)	スタートアップ支援者として必要とされる 知識やスキル、マインドセットなどについての講義
①-2 地域エコシステム研修	講義 7時間×1日 講師 7名	首都圏外 (NEDOが指定、 調整予定)	スタートアップエコシステム拠点等の現場理解 を目的とした、地域の特徴的なスタートアップ支援政策、支援機関や地域発スタートアップなどについての講義
①-3 修了研修	講義 7時間×2日 講師10名	首都圏 (NEDO、K-NIC等)	スタートアップ支援者として必要とされる 知識やスキル、マインドセットなどについての講義
② 合宿研修	講義 7時間×3日 講師7名	山形県鶴岡サイエンスパーク周辺等	伴走型支援者としてのマインドを培う 地方のスタートアップエコシステム形成などについての講義、起業家とのディスカッション、地域に根ざした起業家マインドを学ぶ現地見学会等
③ OJT研修	月1回	現地もしくは オンライン	受講生が座学で得た知識の定着、現場対応力の養成、ネットワーキング構築機会の提供等を目的とした実践トレーニングの機会。 2023年度は、NEDOの実施するスタートアップ助成事業 (NEP躍進コース、助成対象期間：2023年8月～) と連携し、NEDOカタライザーによる起業家のメンタリングの場に受講生とNEDO職員が同席予定 (受講生の割り振りはNEDOが決定し、委託事業者の同席は不要)

3-1-1. SSAプログラムの事務局業務

(参考1) 2022年度のSSAプログラム

研修区分	講義タイトル例
①-1 開講研修 (15講義)	我が国のベンチャー・エコシステムの様相と課題 アントレプレナーシップ支援論 エクスポネンシャル・テクノロジー思考論 イノベーション・デザイン思考概論 イノベーション支援人材のキャリア開発 スタートアップ・アクセラレーション論 技術社会実装論 海外スタートアップエコシステム ベンチャー産業政策概論 公的創出支援の取り組みと制度活用 テクノロジースタートアップの知財戦略・マネジメント 研究開発型ベンチャーのメンタリング イノベーション6つの方法 スタートアップの資金調達と資本政策（基礎編） ベンチャーエコシステムデザイン戦略
①-2 地域エコシステム研修 (大阪、浜松の2回実施。計7講義)	地域のスタートアップ・エコシステムの展開 スタートアップエコシステム施策の取り組み 科学技術ビジネスプロデュース論 異能の掛け算～0→1のビジネスディベロップメント 地域・地方活性化とベンチャー・エコシステム オープンイノベーション戦略（概論） スタートアップのバリュエーションと資本政策の考え方（演習編）
①-3 修了研修 (8講義)	インキュベーター・マネジメント論 スタートアップのレジリエンスマネジメント 研究開発型ベンチャーのE x i tと伴走支援の視点 研究開発型スタートアップのチームビルディング 大企業のイノベーション創出事例とその人材態様 地域・自治体の起業エコシステム構築 研究開発型スタートアップの外部資金公募攻略 メンタリング支援の実践
② 合宿研修 (7講義)	鶴岡市の政策紹介 鶴岡サイエンスパーク、鶴岡発ベンチャー企業の紹介 起業家講演（4社） SSA合宿についての想い ラボツアー、ナイトディスカッション 鶴岡市の伝統文化について 特別講座～鶴岡の起業家精神を学ぶ～

3-1-1. SSAプログラムの事務局業務

(参考2) 2023年度の運営支援業務の内訳

項目	業務内容
受講生公募支援	・1次選考(書面審査): 応募書類のとりまとめ、連絡先一覧表の作成等 ・2次選考(面談審査): 面談日程の調整、受講生への連絡等
受講生対応	・研修プログラム表の作成、メール送付 ・研修当日の受付、出席確認等 ・欠席者対応(研修資料の送付、研修動画およびレポート課題の案内、受付等) ・受講アンケートの作成、とりまとめ ・月次課題(OJT学習内容や各自の支援活動等に関するレポート)等のとりまとめ
講師対応	・謝金、交通費等の支払準備、支払、費用負担 (原則として、謝金の額は当機構の内規で定める額とすること) ・講演日時調整等 ・講演資料の刈取、印刷等 ・研修当日の講師受付、案内、印刷資料の配布等
会場設営・運営等	・会場下見、関係者打合せ、進行表の作成等 ・研修会場手配、費用負担(10万円程度) ・合宿に係る、講師・受講生の宿泊、地元企業の見学会、ナイトディスカッションの手配、費用負担(100万円程度) ・会場設営(机・椅子、PC、映像、音響、録画機器等)、片付け、原状復帰等 ・研修当日の資料配布、スライド投影、音響、照明等の管理・補助、研修のタイムキープ等 ・研修の動画収録および動画納品等(各研修について、講演の様子および音声を収録し、各研修の終了日から1週間以内を目安に動画ファイルをNEDOに納品するとともに、研修の欠席者がオンライン視聴できるように動画を限定公開すること。ファイル形式等の詳細はNEDOと協議のうえで決定すること)

2023年度および、2024年度内に下記のスケジュールに則り、**計 3回のSSAプログラム**を実施する予定を組むこと。

●2023年度予定

SSAプログラムを**1回開講すること**。スケジュールは下記の予定で設計すること。

※③OJT研修は、①-1.開講研修から①-3.修了研修までの期間中に実施予定。

2023年7～8月 受講生公募（場合によってNEDOが先行して募集）

9月 受講生決定（40名程度を予定）

10月 ①-1.開講研修

11月 ②合宿研修

12月 ①-2.地域エコシステム研修

2024年1～2月 ①-3.修了研修

●2024年度予定

SSAプログラムを**2回開講すること**。

第 1 回研修期間：2024年4月から9月頃

第 2 回研修期間：2024年10月から2025年2月頃

①-1～3、②、③の枠組みは維持し、各回の受講生は 40 名程度を想定すること。

なお、実際のプログラム日程、開催場所は2023年度実績（3-2.周辺調査の結果を含む）等を鑑み
NEDOと協議の上で決定すること。

※以上のスケジュール以外に、NEDO事務局が必要と判断した場合は、補講等の開催を検討すること。

2023年度の実施内容は、3-1-1.に示した内容とすること。その際、SSAプログラムの講師はNEDOが指定する想定であるが、実施期間中に積極的な提案を受け付ける（計画提案時点では不要）。

この際、現状のSSAプログラムの内容を、研究シーズ・スタートアップのフェーズや受講生の経験値・レベル等を縦横軸に取る等工夫した上で、「SSAプログラム俯瞰表」として整理すること。

2024年度の実施内容は、**計画提案時点においては2023年度と同様の研修 2回分の内容を実施する想定での提案で構わない。**ただし、2023年度実施した結果を適宜、発展的に充実させ、①-1～3、②、③の枠組みは維持した上で、研修2回分の内容を、2023年度中にそれぞれ再提案すること。その際、上述の「SSAプログラム俯瞰表」を客観的に分析し、過不足する内容を精査すると共に、後述の「3-2-2. SSAプログラムの内容についての分析」の取りまとめ内容を反映すること（内容を確定後に実施計画を変更修正すること）。

実施においては、NEDOの他事業（例えばNEDO Entrepreneurs Program ; 「NEP」 や、大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業 ; 「MPM」 ）と適宜連携することで相乗効果を発揮するように計らうこと。また、実働に際しては、NEDOと協議の上、柔軟に対応すること。

開催形態は、特段記載のない限りは、**リアル開催を基本する**が、必要に応じてオンライン開催、ハイブリッド開催、もしくは録画ビデオを視聴する形式（e-ラーニング）についても検討し、費用の範囲内で最大限効果を発揮できるようにNEDOへ提案すること。

OJTに関する追加提案

<背景>

基本的に1人の受講生はNEDOが指定する1つの事業者のメンタリングにのみ同席するため、実践機会の回数や学習内容が限られ、**経験内容に偏りが生じる課題**がある。一方、より実践的な現場対応力の醸成を目的に、3-1-1.で示した①講義研修に**模擬メンタリングを組み込み、受講者から高評価を得ている**。

<提案事項>

3-1-2.で作成する「SSAプログラム俯瞰表」や受講生から提出される月次課題（OJT内容のレポートを含む）等を活用しプログラム全体のバランスを精査した上で、**OJT研修の課題を解消し、研修効果を高めることができる内容を手法と共に提案すること**。

例えば、①研究開発型スタートアップのメンタリングにおいて、経営者からカタライザーに多く寄せられる相談事項の回答例を学ぶことができるケースメソッド教材の作成、②メンタリング対応において知っておくべき基本知識を学べるテキストの作成、③受講生各自がメンタリングで学んだことを共有できる機会・仕組みづくり等を想定するが、**試行的な内容も含めて手法と共に提案を行うこと**。その上で、NEDOとの協議を経て「3-1-2. SSAプログラムのスケジュール設計業務」で期間中に再提案する予定の**2024年度実施内容に盛り込み実施すること**。なお、**2023年度実施内容に盛り込むことでも構わない**。

3-2-1. SSAプログラムの研修効果の検証

SSAプログラムの研修が受講生のスタートアップ支援業務においてどのように寄与しているかを検証するため、研修受講前と受講後の知識量や支援実績、スタートアップや支援人材間でのネットワーク形成状況、SSAプログラムに対する満足度等について、適切に設問した**アンケート等の調査を実施すること**。設問等については、NEDOと協議の上決定すること。

調査対象者は、SSAプログラムの第1～5期修了生 (約170名) とすること。

調査手法は、Webで回答可能なアンケート形式を想定するが検証できれば調査手法は問わない。

集計結果は、2024年1月末を目途にNEDOに提出することとするが、適宜進捗を報告すること。

SSAプログラムの研修内容について、改善の指針・参考となる情報を収集することを目的に、後述する調査対象について、**要望や意見、感想、満足度等を聴取するとともに、各講座の教育内容や意図、効果等を整理し、2023年度末までに取りまとめること。**

調査の結果、対象者間の認識の乖離が著しい事項がある場合はこれを明らかにして、プログラムの内容や運営に関する**課題と改善案をとりまとめること**。なお、改善案について、3-1-3.で作成する「SSAプログラム俯瞰表」へ反映すると共に、3-1-3.において2023年度中に再提案する2024年度実施内容にも反映することが望ましい。

調査対象は、**NEDO SSA事務局、当該年度のSSA受講生、講師**（スタートアップ起業家を含む）等とすること。受講生からはSSAプログラムの各講座やOJT研修のみならず、研修前後のネットワーキング等についての感想や要望についても情報収集すること。講師からは、担当講座の意図や狙い（受講生に習得が期待される知見）や達成度、今後の期待等を情報収集すること。

調査手法は、**アンケートやヒアリング等を効果的に組み合わせること。**

スタートアップが支援者に求めるニーズは幅広く、個々の支援者がすべてのニーズに対応することは難しい。そのため、支援者間で互いに協力し合える関係づくりの促進が重要と考え、NEDOは**SSAプログラムの修了生のコミュニティ「SSAアルムナイ」**を構築している。

SSAアルムナイの人的ネットワークの強化や活躍の場の拡大、各人のスタートアップ支援に係る最新情報のアップデートを目的として、SSAアルムナイに対する下記の業務を実施すること。

(ア) SSAアルムナイ活性化に資するイベントの提案・実施

SSAアルムナイを活性化させるために、**効果的なイベント等の方策について2023年度、2024年度の2回分を提案し、NEDOおよびSSAアルムナイの有志等と協議の上で実施すること**。実施内容は、例えば(a) 知見共有・相互理解を促すイベントの開催(3回/年目安)、(b) スタートアップに関連する最新動向の講義(1回/年目安)等を想定するが、他にアルムナイの活性化に資する方策があれば積極的に提案すること。

その際、イベント等はSSAアルムナイの有志が主導するが、イベント等を実施する上で必要となる会場、設備、人員等を調達、費用負担すること。

(イ) 修了生活躍の場の拡大に資する調査

SSA修了生の**具体的な活動内容**や**それぞれの強み**を見える化することで、SSA修了生ネットワークの強化や活躍の場の拡大を図ることを目的とした「SSA修了生のスタートアップ支援現場での活動内容に関するアンケート等の調査」を実施すること。

調査対象は、第1～5期修了生（約170名）とすること。なお、本調査は、「3-2-1. SSAプログラムの研修効果の検証の調査」と同時に実施することでも構わない。調査結果は、後述の3-3-1. (ウ)のコンテンツとして活用できるように想定すること。

(ウ) SSAプログラムおよび修了生の活躍を紹介するホームページの作成補助

SSAプログラムの取組・成果等（事業の紹介文、修了生の活動状況の記事、事業概念図等の作成等）を効果的に広報するためのコンテンツ等（HTML、画像、テキスト等）を作成すること。なお、作成するコンテンツ等は、NEDOホームページ上で公開できるように、NEDOのサーバーセキュリティポリシーに基づき、NEDOのデザイン言語等を踏襲したフォーマットで作成し、2023年11月末を目途にNEDOへ提出すること。

本業務において、スタートアップ及び「支援人材」等に対する支援業務として、必要に応じて専門家、有識者等を活用することを想定しており、**該当者への謝金等の諸費支払い等の庶務業務を担うこと。**

現時点では、大学におけるシーズの発掘・起業環境を整え、NEDOのスタートアップ支援事業 (NEP等) への応募を促すことを目的に、NEDOが連携協定を締結している大学に対して、NEDOカタライザーを派遣しメンタリング等を実施する場合において、**メンタリング等の対価として謝金等支払い（必要に応じて委嘱手続きや、NEDOカタライザーが作成する報告書回収・確認等も含む）を実施すること。**謝金額は、技術経営アドバイザーを活用した技術経営アドバイザーを活用した技術経営力の強化等に関する助言業務実施規定 (平成21年度規定第10号) に準用し、期間中 5～10回/年程度の実施を想定して経費に積算すること。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部 SSA担当 横山、馬場、青木、石嶋、川原
E-mail : tech-ssa@nedo.go.jp

本公募に関するお問い合わせは、E-mailでお願いします
審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません